

# 健康教室

## 変わりつつある膵癌の治療 ～最近の知見～

消化器外科  
角田順久

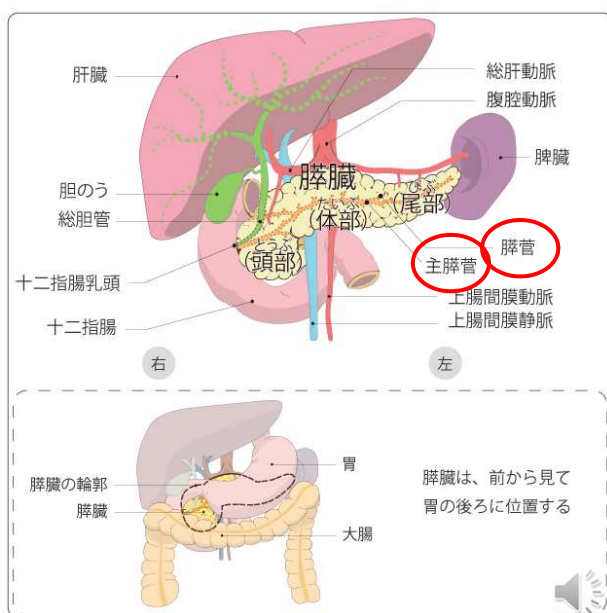


### 膵癌とは・・・

膵臓がんは、膵臓の中の膵管上皮細胞から発生したがん

非常に発見しにくく、診断がつけにくいのが特徴です。

手術ができるのは約20%程度



## 2018年死亡数が多い部位

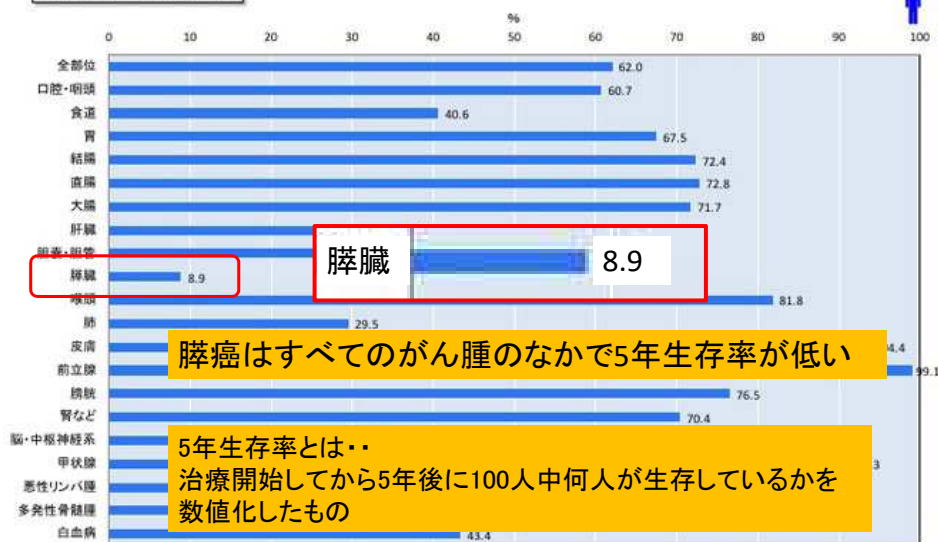
	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

国立がん研究センターがん情報サービスHPより

全体で第4位の死亡率まで上昇してきている



部位別5年相対生存率  
[男性 2009年～2011年診断例]



資料：国立がん研究センター がん対策情報センター  
Source: Center for Cancer Control and Information Services  
National Cancer Center, Japan



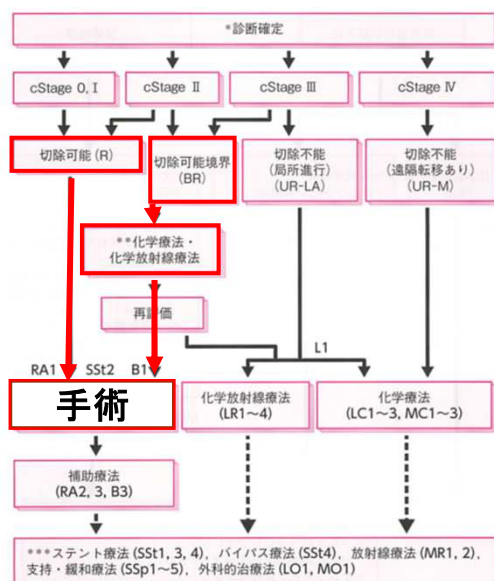
膵臓がんを引き起こす特定の原因は明らかでない。

<膵臓癌発生に影響を及ぼす可能性があるもの>

慢性膵炎、  
糖尿病、  
膵管内乳頭粘液性腫瘍、  
膵嚢胞、  
膵臓がんの家族歴、  
喫煙、  
肥満



## 膵癌治療の流れ



切除可能病変 (R)  
⇒切除により完全切除可能なもの

切除可能境界 (BR)  
⇒切除はできるが遺残の可能性が高いもの

切除不能 (UR)  
⇒切除できたとしても遺残が確実にあるもの

膵癌診療ガイドライン  
2019年版より引用



## 膵癌治療の流れ

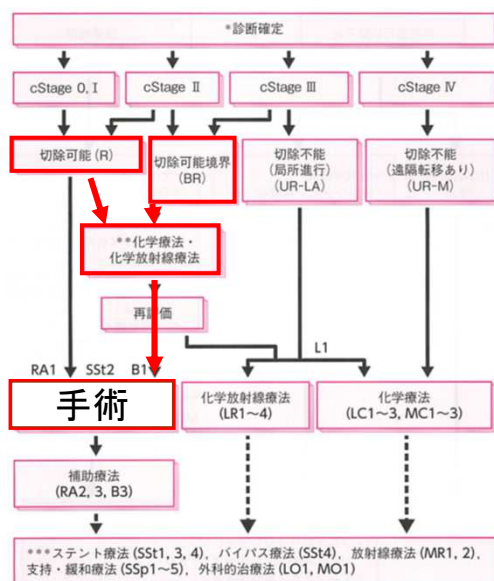
### 大規模比較試験 (Prep-02/JSAP05)

	術前化学療法群	手術先行群
全生存期間中央値	36.72か月	26.65か月
2年全生存率	63.7%	52.5%
肝転移再発	30.0%	47.5%

切除可能病変は、これまでは手術療法先行であったが、手術以前に化学療法先行したほうが治療成績が良かったため、化学療法⇒手術を行うようになった。



## 膵癌治療の流れ



手術により膵癌の根治を目指しますが、  
**時として再発する場合があります。**  
その場合は抗癌剤治療を行います。

癌と診断されたときに、血液中に癌細胞  
が循環していることが証明されており、  
再発の原因と考えられます。



**膵癌に新しい薬が承認されました！**



## ナノリポソーム型イリノテカン (nal-IRI) 商品名: **オニバイド**

膵癌の二次治療として  
使用可能

2020年2月26日承認

### 特徴

- ① **腫瘍組織へより多くの薬剤を集める**
- ② **抗腫瘍効果が高い**
- ③ **副作用が軽減しやすい**



## 膵癌のがんゲノム医療の動向



## 膵癌の発症リスクを高める遺伝子

遺伝性膵癌症候群	原因遺伝子
遺伝性乳癌卵巣癌症候群(HBOC)	BRCA1、BRCA2
Peutz-Jeghers症候群(PJS)	STK11
家族性異型多発母斑黒色腫症候群(FAMMM)	CDKN2A
家族性大腸腺腫ポリポーシス(FPC)	APC
遺伝性非ポリポーシス大腸癌(HNPCC,リンチ症候群)	MSH2、MSH6、MLH1、PMS2



わが国でも2019年6月に  
2つのがん遺伝子パネル  
検査が保険診療で実施  
可能となりました！



遺伝子パネル検査が行える施設は、  
がんゲノム医療を行う体制が整った病院です。  
県内では3施設  
**佐世保市総合医療センター**  
 長崎大学病院  
 長崎医療センター  
 合計全国で160施設

佐世保市総合医療センター  
 長崎医療センター  
 長崎大学病院  
 長崎県

## 現在使用可能および 今後期待される治療薬

遺伝子検査	使用薬剤
高頻度マイクロサテライト不安定性 (Microsatellite instability high: <b>MSI-H</b> )	免疫チェックポイント阻害剤
<b>BRCA</b> 遺伝子変異	プラチナ製剤 ⇒PARP阻害剤
神経栄養因子受容体 チロシンキナーゼ(NTK)	トロポミオシン受容体 キナーゼ(TPK)阻害剤

特定の遺伝子変異が判明したものに対しては  
有効な治療薬が使用できるようになってきました。



今後も遺伝子異常を標的とした  
治療薬の開発が期待されてい  
ます。



当院においても、膵癌に対する新しい  
治療の動きに対応できる体制作りを  
行っています。

今後も情報発信していきます。

